

ファミリーカーの年末年始 [2021-22]

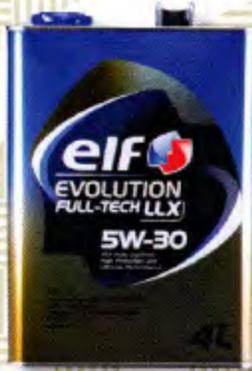
## 気持ちよく、年を越す。



[特集]

### 年の瀬洗車 令和の流儀

よごれを  
リセット



[ガイド]

### Premium オイル倶楽部

いたわりのご褒美

[REPORT]

### ADVANCED MACHINE TRIAL

ミライを  
見据える





Car Goods  
Quest

新設計のフレーム&モノコックシェルで  
強度と剛性が格段にアップした最新モデル

BRIDE  
GIASⅢ  
価格：21万4500円～

16年ぶりのリニューアルを果たした、ブリッドのセミバケットシート『ガイアスⅢ』。最新技術による設計はこれまでのモデルに比べて、各種性能が大幅にアップデート。そんなフラッグシップモデルのディテールをチェックしてみよう。

まとめ：渡辺大輔

最新設計技術によって  
細部までアップデート

ブリッドといえばスポーツカーに向けたホールド性の高いバケットシートから、乗用車向けコンフォートシート、さらにトラックなどの商用車用シートなど、様々なアイテムをラインアップする国産シートメーカー。そんなブリッドからラインアップされるスポーツ向けリクライニングシートがガイアスシリーズだ。バケットシート並みのホールド性にリクライニング機構をプラスした、

セミバケットシートとして誕生したガイアス。その特徴をさらに磨いたサードジェネレーションは、フレームからモノコックシェルに至るまで全てをリフレッシュして誕生した。特にシェル形状は「ディープシールド」をサポート&ハイサイドサポート」をコンセプトに一新。剛性と強度も飛躍的にアップしガッチリと体を支えてくれる、バケットシートとしての機能性の強化も行われている。また、特徴となるリクライニング機構も新設計。ワンタッチで角度調整可能なレバーを新規設定。コンパ

クトな車体でも操作しやすい形状を採用しているのだ。もちろんレバーだけでなく、リクライニングのバックラッシュも微量になるように調整されるため、より体にフィットできる着座位置が実現できるのも特徴。腿部クッションもスタンダードと一口クッションの2つから選択できるため、車種や体格に合わせてセットアップできるのも魅力というわけだ。フィッティングの向上に加え、モータースポーツ向けに股下ベルトホールも新設。ライトユーザーにも適したストラディアⅢよりもホールサイズを縮小するこ



使いやすさを重視したリクライニング機構は、ガイアスⅡまでのダイヤル式からレバー式に一新。狭い車内でも操作性に優れているのはもちろん、バックラッシュ量も軽減して微妙な角度調整にも対応。



新設計となるスチールフレームとモノコックシェルは強度と剛性が大幅にアップ。フレームの耐荷重強度は200%、ねじれ強度は40%、バックレスト前突強度は15%強化されている。



ブリッド特有のローマックスシステムは新しいガイアスⅢでも健在。また、サーキット走行で使用される際の安全性を考慮して、6点ハーネスに対応できるよう股下ベルトホールを新設している。



腿部クッションはスタンダードとロータイプの種類をラインアップ。高密度発砲モールドウレタンの採用により、乗り心地や耐久性が向上。疲労軽減、へたりにくさに優れる。

後部座席のある車体に取り付ける場合、乗員保護のためにシートバックプロテクターを装備しなければならない。そのためオプションとして専用のシートバックプロテクター(6050円)も用意される。



とで、ベルトの動きを抑制するなど、本格的なサーキット走行にも対応するアレンジは、まさにセミバケットシートのフラッグシップモデルだからこその設計。

高く、さらに信頼性もアップしたガイアスⅢ。走りを楽しむスポーツカーには、必須の装備と言えるだろう。